

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。



秋風が冷たく心地よい季節となりました。夏の疲れが出て体調は壊されていませんか。

日頃は「赤祖父ゆみ」の議員活動にご支援ご鞭撻賜り、厚く感謝申し上げます。4期目最後の議会を無事に終える事が出来ました。

8月29日(火)～9月22日(金)までの長丁場となりました。9月9日(土)には湖南省議会議員選挙の説明会もあり、慌ただしい9月議会となりました。今期で3人の議員が引退されます。大きな支えが無くなったような気がしています。市議会を引っ張る意味からも、石部町議会議員からの経験からもその責任は重大です。

湖南省は今後人口減少時代を迎え、少子高齢化が進んでいきます。財政的にも義務的経費が嵩み財政の硬直化が進む中、企業誘致や新しい歳入の確保は大変重要です。財政基盤の確立なくして社会福祉の向上はありえません。企業誘致を進め、雇用を生み、若者がこのまちに移り住みたいと思えるような魅力的なまちにしなければなりません。湖南省は豊かな自然に恵まれています。農業林業の振興をもっと進めるべきです。地域のエネルギーは地域の物。原発に頼らない、再生可能な自然エネルギーの転換へと大きくシフトしていくべきと考えます。豊かな自然を守ることは私達に課された使命です。湖南省の玄関となる石部西地先の開発は、新中郡橋の要望を今後も県に伝えながら、大いに進めていくべきです。そして最寄りのJR石部駅の改修はただ単にバリアフリー化だけでなく、駅周辺の全体的な都市計画とあわせて、未来の湖南省の発展のために道を開いていくべきと考えます。市民が「しあわせだ!」と感じられるまちをめざして、今後も引き続き挑戦したいです。国が決めるのではなく地方が決めて行く。私たち一人一人が考えて実行に移す活気あるまちをめざして・・・そのための住民自治を進めるためには市議会の改革が必要です。市民の意見の代弁者として、議会が提案、立法していく議会をめざして。「地方が国を変える」思いで、1歩ずつまじめに歩んでいきたいと思ひます。

赤祖父ゆみ

研修会

連合滋賀研修会



7月22日
慶應義塾大学教授
井出英策氏「All for All」の財政改革。だれもが生活不安におびえている社会である

学習会

マニフェストサミット



7月31日～8月1日
早稲田大学名誉教授
北川正恭氏「次世代の議会のあり方」民意の反映で条例を見直す。地方創生時代

学習会

石部駅懇談会



7月14日
石部まちづくりセンターにて湖南省女性会で勉強会。JR構内の移動とエレベーターの設置は必要不可欠。

学習会

災害ボランティアセンターの研修



9月3日
災害ボランティアセンターの研修(高島市)。台風18号の際のセンター立ち上げについて話を聞く事ができました。

赤祖父ゆみと語ろう会

石部駅はどんな駅にしたいですか？
新庁舎についての思いは？
ざくばらんに話しませんか。
皆様のご意見をお聞かせ下さい！

日時：10月8日(日曜日)
5:00～約1時間
場所：宝来坂集会所

7月

- 2日 清掃活動
- 3日 タウンミーティング(石部)
- 7日 サロンはなみずき(そうめん作り)
- 11日 自転車通学路の調査
- 15日 滋賀生命尊重のつどい
- 16日 ソフトバレーボールカーニバル
- 18日 夏のデザート(料理教室)
- 20日 さくら教室交流会、いもち送り、下田夏祭り
- 21日 夏の勉強会(水戸小学校)
- 23日 いしべ愛宕まつり
- 25日 石部小学校芝生運動場の調査
- 26日 青少年指導支援の会佐野氏講演会
- 29日 琵琶湖のせっけん運動40周年記念集会

8月

- 2日 いじめをなくそうサミット
- 3日 甲西駅立ち、行政改革推進特別委員会
- 10日 庁舎整備計画検討委員会傍聴
- 13日 青少年指導支援の会
- 15日 山中慎介V13防衛戦応援(京都)
- 17日 トレセン夏祭り
- 18日 議会改革推進特別委員会、災害ボランティア運営隊会議
- 19日 宝来坂・東寺夏祭り
- 20日 石部西区・石部東区夏祭り
- 22日 産業経済常任委員会
- 23日 柑子袋夏祭り
- 24日 すまいりー水戸、もみじあざみ夏祭り
- 27日 青少年夏休みコンサート運営、ハ起会夏祭り

9月

- 29日～22日 9月議会定例会
- 31日 ふれあい広場会議
- 2日 住民のつどい、お月見コンサート(下田)
- 9日 湖南省議会議員立候補者説明会
- 10日 避難所運営ゲーム参加(まち協)
- 14日 石部駅立ち、三浦了氏追悼式
- 17日 ふるさと防災チーム出動
- 18日 宝来坂区敬愛の集い
- 20日 庁舎整備特別委員会



7月8日 しが元気セミナー



7月23日 下田泥りんピック



8月2日 自転車の点検



8月15日 平和の鐘(長寿寺)



8月19日 宮の森夏祭り



8月26日 甲西中学校お祝い式



9月9日 石部中学校運動会



9月10日 グランドゴルフ大会

社会保障の充実と財源確保を
一体的に図るための改革の推進条例・否決

社会保障施策の財源確保策について、市議会に助言を求める条例が提出されましたが全員一致で否決されました。私は、質疑の後討論を行い、市に要望する施策については、あらゆる行政改革の提案を含めて成されるべきとは思いますが、「なぜ社会保障施策の充実に限定するのか」「条例には期限が定められているが社会保障の充実になぜ期限があるのか」「条例制定といった手段をなぜ取らなければならなかったのか」等討論を行い反対しました。決して社会福祉施策をないがしろにしたのではなく、このような手法となることが納得できないものです。

- 核兵器禁止条約の参加を求める意見書
- 「組織犯罪処罰法（共謀罪法）」を廃止することを求める意見書
- 危険なオスプレイの飛行演習の中止を求める意見書
賛成をしました！

平成 28 年度湖南市決算審査

市税は 84 億 465 万円。0.5%の微増。法人税は 2.9%減少しています。湖南市の懸案事項である経常収支比率は人権費減により、92.4%と昨年より 2.3%下がっていますが、依然高い数値となっています。新たな税収確保が望まれます。不納欠損額は年々増加しており、税の公平性の観点からも更なる徴収体制を望みます。医療費の伸びは、平成 28 年度、やや落ち着き安堵するところですが、市民一人一人が健康でいられるように更なる努力が必要です。今後急激な高齢化となっていきます。介護保険の認定率は全国及び滋賀県と比較すると平均値より下回っていますが、認定者数は前年度より 122 人増加しています。今後ますますの扶助費の増、また、今後、東庁舎周辺整備事業など大型事業を進める中で公債費の増、義務的経費の増加が懸念されます。最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、ますますの工夫が必要です。

平成 29 年度補正予算審議

国の交付金を活用して
子供の貧困実態調査実現！！

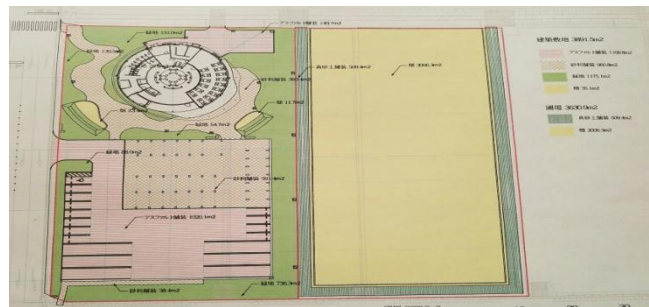
6 月議会の私の一般質問で子供の貧困に関する調査をすべきと訴え、早速今議会の補正予算に提出され実現しました。本当に嬉しく思います。まず現実を知る事が大切で、そこからより良い施策が生まれる事を期待しています。

木質バイオマス設備導入に向けた
賦存量調査がはじまる！！

環境省の平成 29 年度二酸化炭素抑制対策事業費等補助金を活用して、木質バイオマス燃料の安定供給に向けた持続可能な森林の経営計画などを進めていきます。湖南市の宝、森林を活用しての薪ストーブなどの普及はこれからです。

みらい公園湖南魅力発信拠点施設
農家レストラン！！建設業者決まる！！

2 億 2266 万 9 万 2000 円。農業水産省の「農山漁村振興交付金」が約 1 億 1 千万円でおおよそ半分。それ以外は市の単独事業費。
(株)ヤマタケ創建
地産地消型レストランで、市民の交流を大切に、地域情報の発信及び地場産品の販売を行います。農産物の新たな付加価値を生み出す 6 次産業化の取り組みを進めます。
4 つの数値目標を定め、①市内農産物の販売額の引き上げ②体験農園の来客数を 4200 人。③ここぴあ来客数を平成 31 年には 26 万人。④市内の交流人口を原稿の倍増をめざします。



一般質問
農業を守る施策とここぴあの現状

問 米の直接支払い交付金が平成 30 年に廃止になります。湖南市の農業の発展をどう考えていくのか

答 水稲から園芸にシフト転換をし、法人化へ向けての生産組織体制の構築、農産物高付加価値化にむけて取り組みます。農業指導や販路開拓の支援を図っていきます。

問 国の進める「稼ぐ AI 農業」に対する考え方は

答 市内のほ場規模、農業経営の状況を考え、それに適合した取り組みが可能なのか、今後も国、県の情報を注視していきたい。

問 「ここぴあ」の現状と建設予定農家レストランとの経営効果は

答 「ここぴあ」の当初売り上げ目標は未達成ですが、建設予定の農家レストランを含む「みらい公園湖南魅力発信拠点施設」として、市民、団体と連携を図り、意欲ある農業者を確保していきたい。

問 「ここぴあ」の販売の手法として 1 つの販売ボックスをいくらかで貸すような取り組みをしてみてもどうか

答 少量生産者もあり、販売陳列効果など検証し、有効となる手法については検討していきます。

問 東寺でのブルーベリーは目への効果、アンチエイジング効果もあり、大変美味しいものでした。特産にしては

答 量が確保できましたら、また考えていきたい。

市営住宅整備計画
跡地利用と自治会加入について

問 市営住宅整備計画は進んでいるのか
答 市の財政状況が増す中、計画的かつ効率的な市営住宅の整備・運営が求められます。将来必要な管理戸数について検討し、民間住宅活用した整備計画に則した要綱を制定するよう努めているところです。

問 駐車場の考え方と今後の計画は
答 市営住宅全戸について 1 台の駐車スペースは確保出来ていません。整備が完了した団地から、市営住宅運営審議会に諮問をし、駐車料金の徴収について協議しています。

問 西寺団地 I 棟以外は用途廃止となっています。良好な住環境の維持保全の観点からも、今後の計画、跡地利用、解体費用についてお聞きします。

答 今後は民間借上公営住宅などによる転居促進に努めるため、要綱等の制定を考えています。その後は民間譲渡の予定で、解体費用は 1 棟当たり約 320 万円です。

問 市営住宅入居者への自治会加入についての考え方は

答 市営住宅入居者の自治会加入促進については、地域との連携や親睦を深めていただくため、自治会加入の誓約書を提出して頂き、加入促進に努めています。

自転車と歩行者を分ける
安全なまちづくり

問 平成 25 年 12 月 1 日道路交通法の改正に伴い、自転車の路側帯通行を道路「左」に限定され、違反した時は罰則が与えられ 13 歳以上が対象になります。出来る限りの安全策を考え順次整備が必要ではないですか。

答 自転車と歩行者を分けるためには、歩道に自転車レーンを設置する必要がありますが、幅員が 3.0m 以上を基本とし、用地確保が必要です。整備実績は市内では、県道長寿寺本堂線、市道三雲駅南線の 2 か所です。おもいやりゾーンの指定や宮の森地域で実施したゾーン 30 もあり、その地位にあった手法で、自転車や歩行者の安全確保に努め考えていきたい。

問 例えば市道狐谷線のように幼稚園、小学校、中学校の通勤通学の通学時間帯が重なるところについては、まずは路側帯を引くなどの対応を検討してほしい。

答 出来るだけ市民が安心して通行できるように自転車の通る道を確保していきたい。